

JAL本社前連続抗議行動もうすぐ12年に

ユニオンネット平和センター 2022年12月19日
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-15-9武蔵野ビル2F
TEL : 03-5577-7262 miyakawa@sinsyakai.or.jp

日本航空は解雇争議を早期解決せよ！



JAL不当解雇(2010年12月31日)から、12年が迫る12月19日(12時)、JAL本社前で早期解決を求める連続抗議集会が開かれた。

◆司会者(鈴木客乗団長) 12:00
今日も元気に早期解決、現職復帰を求めコールをして行きましょう！

◆東京地評
悔しさがこ見上げる季節を迎えた。12年前に不当解雇された悔しさと経営側の酷さに腹ただしく思う。組合潰しと自ら招いた放漫経営に労働者に転嫁するなど会社に怒りをぶつける。諦めず解決するまで頑張りましょう！





◆山口宏弥JHU委員長 先ほどから、このスカイウオークでチラシの配布をしています。JAL社員以外の方はヨクトって頂く。しかしJAL社員は受け取りません。会社が指導しているのですかね？私たちが訴える問題は、決して私だけでなく、皆さんも関係する問題です。アイ菌のJALを見て、再び同じ道を進み過ちを犯すのか？思うんです。軍国主義に大日本帝国にもどるのかという世の中ではありますが、日本航空は本業以外に手を出すんです。あの悪夢を忘れたか思うように。何か空飛ぶタクシー、これに研究開発に、宇宙開発の言ったに加わる。同じじゃないですかかつて日本航空がしてきたこと。1980年代前半に、当時の国鉄を張り合ってリニアモーターカーに手を出し莫大な損失を生んだ。52億円！もう忘れてる。酷いもんです。川崎の大三島で実験をやって当時の福田赳夫首相を呼んだ。しかし社長は知らなかった。そこで大きな内輪もめもあった。御巢鷹山事故のとき、当時の山下運輸大臣から組合委員長をしていた私が呼ばれた。「会社は本当のことを話さない。だから組合から聞きたい」と話した。「組合の話で良くわかった」と答えた。その体質がJALに続いています。赤坂さん「できるだけ早く解決すると言って」もう4年も経ちましたよ。何をやっているんですか？こんな経営者は能力をは言いませんが酷い！解決すると言って4年経ってもできないでいる。日本経団連の恥ですよ。航空業界の恥！一日も早く、12年も経って1日も早くなどいえませんが早く解決をしてください。JALは親方日の丸そのままです。無責任体質、先送り体質！早くまともな会社にして、事故や服務規律を糺しましょう。昼休みにうるさくてしょうが無いわと言わないで、私が述べたJAL体質改善がやるべき道です。社員の皆さん、昼休みうるさくてしょうが無い早く解決してと会社に言ってください。今日はこれで終わります。

◆石賀多鶴子組合員

昨日、母親大会に行ってきました。その内容を報告します。「岸田政権の下で大軍拡が進み、憲法が危機的状況にあります。平和でなければ航空産業の発展はない。平和憲法を守れ、人権を守れと声を上げてきます。JALは安全や労働条件改善のために職場の人権を守り声を上げてきた組合員を、労働組合を潰すため解雇を強行しました。私たちが解雇反対の行動を最高裁は憲法28条の下で会社の訴えを棄却しました。私たちは大企業の横暴を許さずJALは争議の全面解決を行うようご支援をお願いします」。

◆奥田（練馬ユニオン）

まだ10日ある解決を今年中にしてください。私たちはJALの全面解決を強く強く支援します。組合員の皆さん、争議団の皆さん化家k妻で自信持って頑張りましょう。



◆山崎書記長

たくさんの方が集まっています。支援輪が広がっています。JALで、多くの社員が重労働で大赦しています。代わりに入社が繰り返されます。会社に魅力を感じさせないから若く辞めてゆきます。入隊者が繰り返される。会社の経営体質に問題があります。安全を支えるのは現場の社員です。働く環境を改善無くして安全は守れません。私たちは解雇されて2ヶ月後に、当時の稲盛社長が答弁しました。「本当は解雇しなくても良かった。だけど解雇を公表したから後戻りはできない。解雇を言ってしまったものはやらなくては」と酷いものです。この解雇が有効だったとした裁判所を徹底的に追求します。私たちは諦めず嬌々を反撃に向かっていきます。解決のために頑張ります。

